

みくに



手芸の時間

社会福祉法人 みくに園
障害者支援施設 みくに成人寮
TEL: (0879) 68-3104 FAX: (0879) 68-3920
〒761-4661 香川県小豆郡土庄町豊島家浦902-1
HP: <http://www. teshimamikunien. com>

わたしたち強い者は、強くない者の弱さを担うべきであり、自分の満足を求めるべきではありません。

(ローマの信徒への手紙 15章1節)

「予想を超える災害」

主任・防災担当 松田 卓也

10月13日未明、東日本を縦断した台風19号は河川の堤防が決壊するなど各地に大きな被害をもたらしました。台風通過後も未だ被害は拡大するばかりです。連日、被害状況を新聞やテレビで見ながら、非情なまでに猛威を振るう自然災害の恐ろしさを痛感しています。そして、今後このような最強クラスの台風が香川県に上陸するのではと考えると恐ろしくなります。命まで脅かすこの状況に私達は平常心を保つことができるでしょうか。

みくに園は、災害用の備蓄倉庫や非常用の発電機を所有しています。救助までの期間を想定し、1週間分の食料や水などを準備しています。

災害というものが自分の身近に迫っており、他人事では済まされなくなっています。そんな中でも日々の私たちの心掛けで少しでも被害を抑えることができるのでないかと考えています。土のうの準備や常に水路をきれいに保つことで豪雨からの被害を減らす、強風で飛ばされるような物は屋外に置かない、置く場合はロープなどで固定し飛ばされないようにする。また、窓はカーテンを閉めておくと割れた際のガラス飛散防止になります。それでも防げないような場合は、安全な場所に避難することも想定しておかなければなりません。そのために日頃の避難訓練も重要になります。ひとつひとつは小さなことですが、いざという時に自分たちの命を守るために大切なことです。

年々、災害規模は大きくなり、私たちの予想をはるかに超えてきています。自然災害から逃れることはできません。その災害にどう向き合つていけばよいのかが今後の課題です。

南海トラフ地震も30年以内に70～80%の確率で発生すると言われています。今後起こりうる災害に対して必要最大限の準備をし、被害を最小限に抑える努力が必要です。災害から命を守るために、私たちに何ができるのか、今何をするべきなのかを考え実行していくことが今の自分の役目だと考えています。

最後になりましたが、この度被害に遭われた方々に、この場を借りてお見舞い申しあげます。

みくに園の日和 ~A HAPPY DAY~

手芸担当 詫間 万里子

みくに園では毎週水曜日に手芸の時間を設けています。今まで個人個人で、小物を作っていましたが、今回初めてみんなで協力して大きな作品に挑戦しました。3年の年月をかけ、ひと針ひと針を大切に繋ぎ合わせたパッチワークのマルチカバーです。

4cm角の小さな布を1枚ずつ繋ぎ、20cmの正方形のパーツを作ることからはじめました。そして、みくに園での出来事やワンシーンを刺繡やアップリケなどで表したモチーフと合わせて55枚の布を1枚ずつ丁寧に縫い繋げました。ひとつひとつは単純な作

業ですが根気がいります。そんな作業も、みんなと一緒に楽しく、笑いあり、涙ありで進めてきました。

3年前はスムーズに縫えていた人も、年齢と共に目が見えにくくなったり、手元がおぼつかなくなっていました。裁縫の得意なMさんは、思うように手が進まなくなり、自分への歯がゆさに、悔し涙を流していました。でも決して裁縫の手を休めることはありません

でした。それはみんなと一緒にひとつの「完成」という目標に向かっていたからです。裁縫が苦手な利用者もビーズや編み物など自分の得意な分野を担当しました。

モチーフの一枚一枚に思い出があり、そのモチーフを見るだけでその時の光景が浮かびます。全てのパーツを繋ぎ合わせ、キルト芯を挟み、布の肌触りを楽しみながらひと針ひと針手作業でキルティングをしていきます。一人ではできないこともこうしてみんなと力を合わせることで素晴らしい作品が完成しました。充実感と達成感、そして何よりお互いの絆が深まりました。作品名の「みくに園の日和 A HAPPY DAY」は、何気ないみくに園の日常にあるしあわせと、これからも利用者にとってしあわせな日々が続きますようにと願いを込めて付けました。利用者と一緒に取り組んだ時間が大切な思い出となり、私にとってもしあわせな時間を過ごすことができました。是非機会があれば实物をご覧ください。





<諦めない>Part121> Mさんから教えられたこと

3番館のMさんは、70歳だ。長年みくに園のグループホームで生活していたが、加齢に伴い5年前にみくに園に入所となった。グループホーム時代は毎日みくに園に通い、食堂や浴室の掃除などをしていた。3番館へ入所してからも、自前のスチーマーを使い洗面台を掃除するなど、掃除にはこだわりをもっている。

ある日、厨房職員が慌ただしく厨房内を掃除しているのを見たMさんが「僕が掃除しましょうか」と言った。厨房職員が目を丸くして「本当ですか？！」と聞き返すほどのびっくりする言葉だった。でも、その言葉の中にはMさんの優しさがこもっていた。そこで道具を準備し、厨房掃除をお願いすることにした。長靴を履き、床を箒で掃き、ホースで水を流し、ブラシでこする。一連の流れをMさんは忘れないなかった。一生懸命掃除する姿を見て、年を重ねても出来ることがたくさんあることに気付かされた。掃除以外にも朝食準備などの役割を持ち、毎日みんなのために頑張っている。数日後Mさんが「次はいつ食堂掃除したらいいかな」と尋ねてきた。「ありがとう」と答えながら、感謝で胸がいっぱいになった。人のために役に立とうというMさんの姿から「相手を思う気持ち」の大切さを学んだ。

(古川 記)



<諦めない>Part122> 玄関掃除とティーブレイク



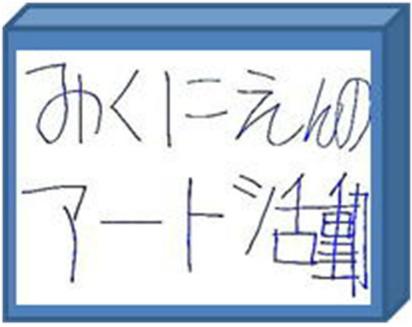
一番館のEさんは話し相手を探して、よく廊下を歩いている。人とのコミュニケーションを何よりも大切にしているのだ。そんなEさんと職員が協働し、意思疎通を図る場として、毎日昼下がりにマンツーマンでの玄関掃除とティーブレイクの時間が設けられることになった。

掃除の時間は2分。たかが2分と言うなれ、懸命にほうきを動かせばその時間だけで汗はにじみ、玄関は磨かれる。

所在なさげに立っているEさんも「僕が右側をやるからEさんは左側をよろしくね」などと具体的な提案をすれば、ベンチの下にある目立たないゴミまで頑張って掃き出してくれる。

作業の後はお待ちかねのお茶の時間。何種類かのジュースの中からお気に入りのものを選んでもらって、職員と一緒に飲みながらしばし歓談する。Eさんはいつも即決でジュースを選ぶが、毎日同じものを選ぶわけでもない。「Eさん、今日はコーヒーを選んだよ」などと職員間でも話題になっている。歓談中、とりとめもなく話し続けているEさんはリラックスしていて、聞き役に回る職員もそれを見て嬉しくなってくる。私は密かにこの時間を心待ちにしているくらいだが、Eさんはどうなのだろうか。願わくば、おしゃべりの楽しさとセットで玄関掃除への意欲も増して、Eさんにとって大切な時間になってくれたら、と思っている。

(小澤 記)



タイトル文字
繁朋宏

春からアート活動を担当することになり、「皆さんが新しい環境に慣れるまでは、時間がかかっても焦らず一歩一歩！」という想いでしたが、すぐに「アートの先生！」と親しく呼んでいただけるようになります。ほっとしています。

アート活動のメンバーは、好きなもの、感じ方、表現のしかたも一人ひとり違います。言葉でのコミュニケーションだけに頼っていてもうまく伝わらないことがあります。自分の経験不足を痛感する瞬間も少なくありません。それでも、それぞれのやり方で「新しいアートの先生」のことを受け入れようとしてくださっているメンバーの皆さんに助けられながら、毎週楽しく活動しています。応援し、支えてくださるすべての方に感謝の日々です。



紙細工を動かして楽しむ
齋藤幸浩さん。



三宅恵子さん。マスキングテープを、指先の感覚を頼りに貼りつけていきます。



繁朋宏さんの作品。折り紙を折り、それを開いて両面を丹念に塗りつぶしていきます。



齊藤宏一さんの作品。横幅70cmくらいのコウモリ型に3週間かけて模様を描きこみました。



リメイク中の椅子にペンキを塗る松本憲武さん。

皆さん、制作に取り組んでいるときは「誰かの評価の目」にとらわれず、その時その時の楽しさや手応え、「やりたい！」という気持ちを大切にしていることが伝わってきます。自分の内側から湧き上がってくる思いに正直なメンバーの姿から、たくさんのこと学ばせていただいている。これからも、アート活動の時間が豊かなものとなるよう祈りつつ取り組んでいきたいと思います。

(吉野 記)

この度みくに園保護者会より除加湿付空気清浄器を各棟2台ずつ合計6台いただきました。
大切に使います。ありがとうございました。



感染症予防勉強会

今年も感染症予防勉強会を行いました。感染症を予防し、発症した場合でも感染拡大を最小限に食い止めるため、吐物処理の実技や手洗いチエッカーを用いての手洗い実習を行いました。毎年行っている勉強会ですが、自己の行動などを振り返り、日々の感染症対策に活かしていき、これから流行するであろうインフルエンザやノロウイルスに対して、全職員への意識づけになりました。



遠足へ行ってきました

【3番館】
海の見えるレストラン（大川）



【2番館】
まんのう公園



【1番館】
大渚亭（屋島）



香川県障害者芸術祭2019において、三枝美津子さんが香川県知事賞、喜多キヨ子さんが高松市長賞を受賞しました。おめでとうございます。

＜行事予定＞

- | | |
|--------|------------|
| 11月15日 | 職員研修旅行 |
| 11月19日 | 豊島中学校交流運動会 |
| 11月22日 | 職員研修旅行 |
| 12月 | クリスマス会 |
| 12月末～ | 冬休み |

編集後記

気が付けば朝晩はひんやりと冷たく、日中は過ごしやすい気温になり、秋真っ盛りになりました。秋は楽しいイベントがたくさんある季節でもあります。遠足や歌謡ショーの観賞会、運動会、手芸やアート活動の作品の展覧会など、目白押しです。

季節の変わり目の体調不良の予防に努めつつ、風邪や感染症が発生した際には、研修で学んだ対応を活かしていきます。

*みくにだよりへのご意見をお待ちしています。

E-mail:kgk03317@nifty.com

FAX:0879-68-3920